

鍋島直正が実現した 佐賀藩の“日本初”

反射炉

オランダの書物を参考にして、日本で初めて反射炉を建設しました。大砲をつくるには大量の鉄を溶かして加工する必要がありました。16mの高さをもつ煙突を使って空気を大量に取り込み、中の温度を1,500℃以上に上げるにより、鉄を溶かすことに成功しました。



鉄製大砲

佐賀藩が日本で初めてつくった鉄製の大砲は、外国船から日本を守るために長崎や江戸の港に設置されました。



実用蒸気船

嘉永6年(1853)にペリーが黒船(蒸気船)で日本にやってきた当時、日本には人の力や風で動く帆船しかありませんでした。佐賀藩は日本で初めて水蒸気を利用したエンジンで動く実用の蒸気船を完成させ、「凌風丸」と名づけました。



医師免許制度

医師の免許制度は明治政府によって全国で広くおこなわれるようになりましたが、佐賀藩では嘉永4年(1851)にすでに実施しており、これがモデルになりました。

パリ万博への参加

慶応3年(1867)に日本がはじめて参加した第2回パリ万国博覧会には、江戸幕府、佐賀藩、薩摩藩が参加しました。佐賀藩が外国のことにくわしく、外国語を話せる藩士がたくさんいたために参加できたのです。

体験してみよう

なりきりカメラ

お侍さんやお姫さまになりきって写真を撮ることができます。



からくりウィンドウ

大広間(外御書院)に藩士が集まった江戸時代の再現映像を見ることができます。10代藩主鍋島直正と並んで写真を撮ることもできます。

館外のみどころ



鯨の門 (国指定重要文化財)

門の上に鯨が乗っている「鯨の門」は天保9年(1838)に作られた建造物です。扉

には明治7年(1874)の佐賀の乱(佐賀戦争)のときにできた鉄砲の弾の痕も残っています。



天守台

江戸時代のはじめに建てていた天守の土台。高さ約9m、上面の広さは南北30m、東西25.5m。天守・建物は享保11年(1726)の火事で焼け落ちてしまい、現在は残っていません。



建物平面表示

天保9年(1838)に建てられた本丸御殿のうち、復元していない建物の輪郭などを地面に表示しています。

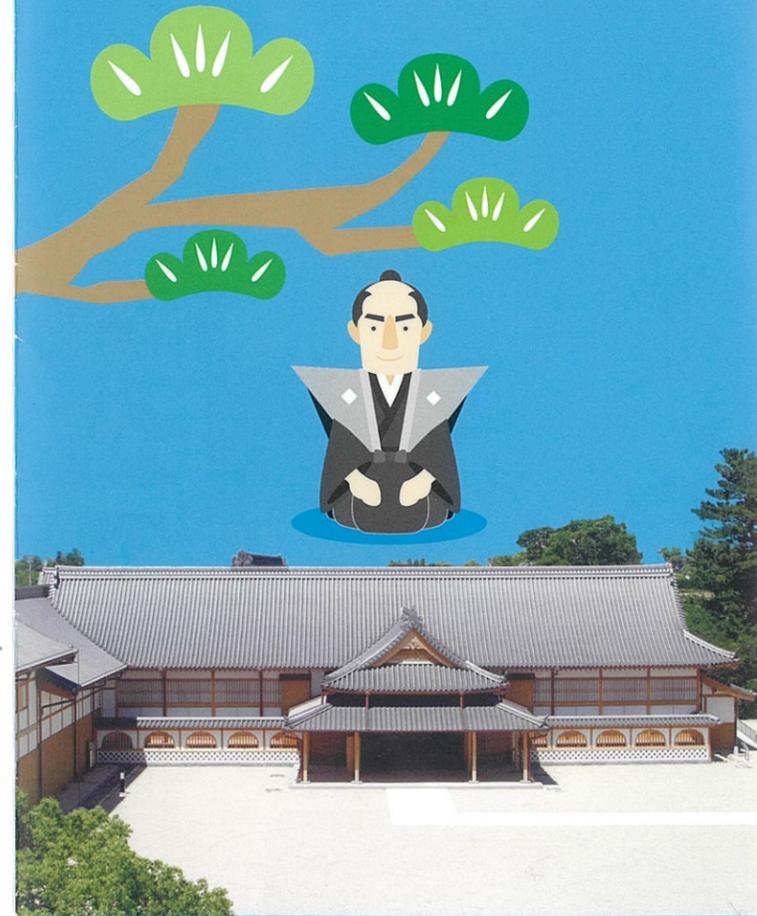
佐賀県立 佐賀城本丸歴史館
SAGA CASTLE HISTORY MUSEUM
TEL0952-41-7550 FAX0952-28-0220
〒840-0041 佐賀市城内2-18-1

開館時間 / 9:30~18:00 駐車場 / あり(無料)
休館日 / 年末(12/29~1/1) 入館料 / 無料
※臨時休館あり

佐賀城本丸歴史館 検索 <https://saga-museum.jp/sagajou/>

Copyright © 2023 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

佐賀県立 佐賀城本丸歴史館へ ようこそ!



佐賀県立 佐賀城本丸歴史館

SAGA CASTLE HISTORY MUSEUM

佐賀城本丸歴史館ってどんなところ?

佐賀城は慶長16年(1611)につくられましたが、天守や本丸などの主な建物は二度の火事で燃えてしまいました。そこで佐賀藩主鍋島直正は、天保9年(1838)に本丸御殿をつくり拠点としました。佐賀城本丸歴史館は、鍋島直正が建て直した本丸御殿の一部を復元し、平成16年(2004)に誕生した歴史博物館です。総面積は2,500㎡にもなります。

もの知りポイント 佐賀城本丸歴史館の御座間や鯨の門は、天保9年に建てられたものが今も残っています。

10代佐賀藩主 鍋島直正ってどんな人?

鍋島直正は文化11年(1814)に江戸で生まれました。天保元年(1830)に17歳で10代佐賀藩主になると、世界の情勢に目を向け、西洋の新しい技術を取り入れるなど、さまざまな日本初を生みだしました。また、佐賀藩の学校「弘道館」を充実させることにも力をそそぎ、多くのすぐれた人材を育てました。

もの知りポイント 佐賀藩は田畑の面積が広く、全国でも10番目の石高(米などの収穫量)を誇る大きな藩でした。

弘道館で学び明治時代の 日本で活躍した佐賀の偉人

島義勇 島義勇は開拓判官として北海道の中心地を札幌に定め、都市建設などの開拓に貢献しました。

佐野常民 日本赤十字社の前身である博愛社を創設。人を博く愛する考え方を広めました。

副島種臣 外務卿・侍講(天皇に講義する職)。外交官として世界から高い評価を受けました。書家としても有名。

大木喬任 初代文部卿。「学制」を定めて義務教育などの近代的な教育のしくみを築きました。

江藤新平 初代司法卿。国民の権利を守る裁判制度などの近代的な司法のしくみを築きました。

大隈重信 政府での数多くの活躍によって内閣総理大臣を2回務め、早稲田大学を創立しました。



佐賀城本丸 歴史館館内

ご案内



⑤ 屯之間

たまりのま かしん たいき
屯之間は家臣が集まり、待機する場所でした。
現在は佐賀城に関わる映像が楽しめます。



⑥ 御小書院

ご ちしょういん
御小書院は藩主などが佐賀藩の支藩である小城藩・蓮池藩・鹿島藩の藩主と面談したり、側近たちとの会議を行う部屋として使っていました。
現在は特別展示室です。



⑦ 御座間・堪忍所

ご ざのま けいご
藩主の仕事部屋(御座間)と警護する人などのひかえ室(堪忍所)でした。現在まで残っている天保期の建物はこの部分と「鯨の門」だけです。



⑧⑨ 南廊下/東廊下

幕末維新期の佐賀・唐津・鳥栖の歴史を紹介するとともに、情報コーナーを設けています。



⑩ 御料理間

おりようりのま
御料理間は、藩主などが家臣や藩外のお客様と面会したり、食事をしたりする場所でした。ここでは10代藩主鍋島直正と、佐賀藩がおこなったさまざまな取り組みについて紹介しています。



④ 外御書院

(一之間・二之間・三之間・四之間)
そとごしよいん
外御書院は、廊下と合わせると320枚の畳が敷きつめられた大広間です。ここでは佐賀藩の公式行事がおこなわれました。一之間は藩主だけが使用できる場所でした。



③ 御三家座

ごさんけざ
御三家座は佐賀藩の支藩である小城藩・蓮池藩・鹿島藩のための部屋でした。ここでは佐賀城や本丸御殿の歴史などについて展示しています。



② 北廊下

きたみし
畳が敷かれた45mの長い廊下です。



① 御式台

おんしきだい
御式台は、お客様を最初に迎えるための部屋でした。



御玄関

げんかん
佐賀城本丸御殿の玄関です。むかしは江戸幕府の使者など、特別な人だけが使える玄関でした。

- ロッカー
- 女子トイレ
- 多目的トイレ
- 水飲み場
- 男子トイレ
- 授乳室
- 非常口

